

ダビット進水式の救命艇等のウィンチに関する事項

改正規則

安全設備規則

改正事項

ダビット進水式の救命艇等のウィンチに関する事項

改正理由

国際救命設備コード (LSA Code) では、救命艇等の進水装置の設備要件として、ウィンチの制動装置を除き、最大使用荷重の 2.2 倍以上の荷重による静的試験に耐えるものであることを要求している。また、救命設備の試験に関する勧告 (IMO 決議 MSC.81(70)) では、原型承認試験並びに製品試験における当該静的試験の詳細を規定しているが、一部に不整合が生じていた。

具体的には、LSA Code 並びに同勧告の原型承認試験ではウィンチの制動装置のみを試験対象から除外しているのに対し、同勧告の製品試験ではウィンチ全体を試験対象から除外しており、取扱いが統一されていなかった。

2017 年 6 月に開催された IMO 第 98 回海上安全委員会 (MSC98) において、LSA Code 及び決議 MSC.81(70) に規定される当該静的試験の対象から、統一的にウィンチを除外する等の改正が行われ、決議 MSC.425(98) 及び MSC.427(98) として採択された。

このため、決議 MSC.425(98) に基づき、関連規定を改めた。

改正内容

- (1) 進水装置の設備要件のうち、最大使用荷重の 2.2 倍以上の荷重による静的試験について、制動装置を含むウィンチ全体を試験の対象から除外するよう改めた。
- (2) 安全係数を 4.5 以上で設計する必要のある構造部材に、ウィンチの構造部品が含まれる旨明確化した。

改正条項

安全設備規則 3 編 3.20.1